



地域安全対策ニュース

平成25年度 名古屋市犯罪抑止対策

愛知県警察本部
生活安全総務課

名古屋市平成25年4月末 犯罪発生状況について

平成25年4月末の名古屋市内における刑法犯認知件数は11,782件で、前年同期に比べ890件(7.0%)減少しています。しかし、住宅対象侵入盗は前年同期に比べ150件(23.1%)増加しており、なかでも空き巣は、712件発生し、189件(36.1%)の大幅な増加となっています。

平成25年		刑法犯	ひったくり	住宅対象侵入盗	自動車関連窃盗	自動車盗	部品ねらい	車上ねらい	自転車盗	万引き
4月末	認知件数(件)	11,782	114	800	1,927	224	542	1,161	2,064	963
前年比	増減(件)	- 890	- 46	+150	- 907	- 244	- 386	- 277	- 108	+10
名古屋市	増減比(%)	- 7.0%	- 28.8%	+23.1%	- 32.0%	- 52.1%	- 41.6%	- 19.3%	- 5.0%	+1.0%

- 数値は(県)犯罪統計平成25年4月末暫定値を引用。4月末で、上記罪種の中で政令指定都市ワースト1位となっているものは「住宅対象侵入盗」である。
- 「住宅対象侵入盗」とは、「空き巣」「忍込み」「居空き」の3つを指す。

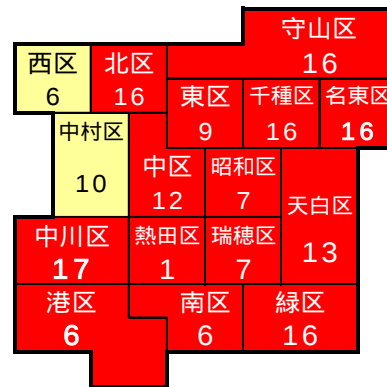
「空き巣」が多発!!(4月単月)

単月でみると、**14ヵ月連続**の前年増

名古屋市内における空き巣の区別発生状況
(平成25年4月)

暫定値

- 「空き巣」は174件発生し、前年同期に比べ69件増加しています。
- 区別では、16区中**14区**が前年同期に比べ増加しています(右図参照)。
- 被害時間は、「**夕方から夜のはじめ頃(15時～21時)**」にかけて多くなっています。



凡例
前年より増加
前年より減少

犯罪を防止するための4つの原則「**時間・光・音・地域の目**」を組み合わせると、より大きな防犯効果が得られます。

時間



必ず施錠をし、侵入に時間のかかる家にしましょう。
「**CP建物部品**」や、補助錠、サムターンカバーの設置、雨戸、シャッターの活用も効果的です。

光



家の周りを明るくしましょう。
センサーライトを設置したり、夜間の留守中、門灯や家の中の電気を点けたままにするのも効果的です。

音



警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせましょう。
モニター録画機能付きインターフォンや防犯カメラも効果的です。

地域の目



住民同士であいさつをし、地域の連携を高めましょう。
不審者には声をかけたり、すぐに110番通報しましょう。